

キエビネ ラン科  
*Calanthe striata* R.Br.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧IB類(EN)



鳥取県内 2010.5.7/撮影：坂田成孝

■**選定理由**：県内に局地的，隔離的に少数個体が生育する。エビネ類の中でも花が目立ち最も採取圧が高く，いつ絶滅してもおかしくない。

■**特徴**：山地暖温帯林に生育する常緑の多年生ラン科草本。エビネやナツエビネに比べ，植物体が大形。花期は5月。萼，花弁ともに鮮黄色，唇弁中央部付近と隆起線は赤紫色。円錐状に約20個つき，目立つ。東部にある自生地は，所有者により林床の手入れが定期的に行なわれており，3株のみだが良好に生育している。採取圧が高いため，自生地情報の入手自体が困難である。

■**分布** 県内：非公開。県外：本州（福井県以西），四国，九州。

■**保護上の留意点**：自生地森林の急激な環境変化防止，採取防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：—